

# 目次

## 概要

[CIS を使用した場合何がファイル記述子のための制限とははずですか。](#)

## 関連情報

## 概要

使用方法が Operating System ( OS ) に依存しているのでファイル記述子がカーネルによってどのように維持されるかこの資料に記述されています。Cisco インフォメーション・サーバー ( CIS ) 要求が処理されたりとき、要求が処理される間、複数のファイル記述子を開く要件があるかもしれません。従って、アプリケーションとして CIS はファイル記述子のための制限の設定の制御無しに OS 特定の設定です。

## CIS を使用した場合何がファイル記述子のための制限とははずですか。

Windows のファイルを開く decriptor 制限を修正することはランタイム ライブラリによって処理されるので、少し Linux 環境より挑戦的です。ただし、\_setmaxstdio 方式が stdio レベルで許可された同時に開かれたファイルの数を設定するのに使用することができます。Windows のデフォルトの限界は 2048 です。

ulimit の使用によって- Linux または AIX ファイルを開く記述子制限の n <value> は変更することができます。

Linux セント OS のデフォルトの限界は AIX 6.1 しか 2,000 間、約 16,000 です。

Linux か AIX で、無制限に値を設定できません。「余りにも多くのファイルを開くに」エラーを実行する場合、データ点を調査する問題がより再生可能にならないまでそれから制限が 1,000 か 2,000 間隔によって増分すると同時にそのエラーの原因となるクエリおよびのは価値です。

CIS のためのファイル記述子 使用方法はこれらのコマンドで Linux か AIX で監視することができます:

```
ps - ef | グレップ Java ( プロダクト ID を得るため )
```

```
lsf - p <PID>
```

```
lsf - a - <PID>
```

適した制限は微調整演習によってだけ一般に指定することができます。

## 関連情報

- [https://msdn.microsoft.com/en-us/library/6e3b887c\(v=vs.80\).aspx](https://msdn.microsoft.com/en-us/library/6e3b887c(v=vs.80).aspx)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)